

●●● | RM&FP NEWS LETTER



リスクマネジメント&ファイナンシャルプランニング

2009年 5月 第64号 By FP Compass



今年も舞鶴山の桜が見事に咲きました

◇ 4月から「ねんきん定期便」が スタートしました

公的年金記録の誤り等を確認するべく約7,000万人の対象者に「ねんきん定期便」が、対象者の誕生日に送付されます。

「ねんきん定期便」は以前送付された「ねんきん特別便」と違って、A4サイズの大きい封筒にて送付されます。

また水色とオレンジ色の2種類の封筒にて送られますが、どちらも内容の確認はしっかりするべきですが、特にオレンジ色の封筒で送付された方はより入念にチェックしていただきたいとのことです。

最初の定期便は特に詳細な内容を記載していますので、この機会にチェックすることをお勧めいたします。

記載内容の主なチェック項目は

1. これまでの払込保険料の累計と受取総額との比較(今後の納付に応じた年金額と遺族年金額は記載されない)
2. 過去の年金加入歴を詳細に記載
過去の勤務先が間違っていないか、途中前後で空白期間が無いかを確認
3. 第3号被保険者(専業主婦など)にもかかわらず「未納」になっていないかを確認
4. 報酬月額の確認

報酬月額の詳細版は今年度限りとなっているので、月額(特に期間途中で急激に報酬月額が低下しているときは要注意)の確認と実際の報酬と大幅に相違ないかの確認

繰り返しになりますが今年度の定期便は一番詳細な内容にて送付されます(次年度からは簡易版の予定)ので、今年度は特に入念にチェックするべきと思います。

同封されている書類が多く、記載内容がわかりにくいかも知れませんが、その時は、私たちがご説明できる範囲でお応えさせていただきますので、お気軽にご相談ください。

◇最新のガン診断と治療について の講演会に参加して

財団法人脳神経疾患研究所の松山光久さんの講演会が某保険会社の代理店会東北ブロックセミナー(秋田)にて行われました。

皆様すでにご存じのように、日本における死亡原因の第一位が「がん」であります。

2006年の死亡者総数、約109万2千人の内、約33万9千人が「がん」によって亡くなっています。

日本人の男性の2人に1人、女性の3人に1人が「がん」に罹患するといわれています。

また、年々罹患率が高まり、2015年までに「前立腺がん」は4倍、「肺がん」は3.5倍、「すい臓がん」は3倍、「腎臓がん」は3倍と急激に増加するといわれています。

治療方法はめざましく進歩はしていますが早期発見・早期治療が「がん」死亡を減らす唯一の対策ともいえます。

現在は発見が遅くなりがちとなり、ほとんどが3cm以上で転移・浸潤などのため治療しても80%~90%が死亡するそうです。

がんの大きさが1cm以下で発見され、適切な治療がなされれば完治率は70%~90%にあがります。

1cm以下での早期発見には人間ドックなどの検診だけではなく「優れたPET検診」が必要となります。

PET検診はたった1回で全身の「がん検査」ができ、小さな「がん」を発見するのに有効な手段といえます。

ただしPET検診といえども限界があります。

顕微鏡レベルのがん細胞は発見できませ

んし、炎症などがん以外の病気でも画像に現れます(一定時間が過ぎると集積が低下し小さくなります)。

このようにPET検査といえども万能とはいえません。

ここでPET検査の得意な「がん」と苦手な「がん」を列挙してみます。

*PET検査の得意ながん

脳腫瘍、頭頸部がん、肺がん、乳がん、食道がん、すい臓がん、結腸・直腸がん、子宮がん、卵巣がん、悪性リンパ腫、黒色腫など

*PET検査のやや苦手ながん

前立腺がん(PET-CTで特定できる場合もあります)

*PET検査の苦手ながん

胃がん、腎がん、尿管がん、膀胱がん、肝細胞がん、胆道がん、白血病など

PET検査をより精度を高めるために、他の検査(MRI・CT・超音波・内視鏡など)をあわせることが有効となります。

PET検診は最もシンプルな検診コースでも75,000円からと安くはありませんが、現時点では優れた検診方法といえます。

がんの治療方法では「ガンマナイフ治療」や「陽子線治療」などが紹介されました。

「ガンマナイフ」とは頭を切開せず、脳内の動静脈奇形や脳腫瘍、機能的疾患などを治療する装置です。

特長として

1. からだへの負担や合併症が少ない
2. 入院期間が短い
3. 健康保険が適用される

などと経済的にも効果があります。

「陽子線治療」については以前にも紹介しましたが究極のがん治療といわれています。

陽子(イオン)を加速器を使って高エネルギーまで加速すると、透過力の大きい電離放射線となり、これが陽子線となります。

陽子線治療の大きな特長は、ある深さにおいて放射線量がピークになる特性を生かし、がん病巣のみに集中照射ができることにより、正常細胞への損傷を限りなく低く抑えながら、かつ治療効果が高くなるという、今までにない治療法として期待されています。

しかし、この優れた特性を持っている陽子線治療もすべてのがんが治療できるわけではなく、得意・不得意があります。

頭頸部(鼻腔や副鼻腔、中咽頭、唾液腺、頭蓋底など)、肺、肝臓、前立腺、膀胱などがんに向いているといわれています。

反対に胃や大腸などの消化器官のがんには不向きといわれています。

また、照射範囲を超えるような大きながんの場合は治療が困難になります。

原発巣から他の臓器に複数移転している場合も陽子線治療では完治させることは困難です。

このように陽子線治療には向き、不向きはあるものの、手術をせずに、しかも外来で仕事をしながら治療できるというきわめてQOL(Quality Of Life)の高い治療方法です。

ただしこの治療法の大きなネックは治療費用が高いことです。

先進医療となりますので、陽子線治療費用は全額自己負担となります。

国立がんセンター東病院(千葉県柏市)では先進医療に係わる費用を「悪性腫瘍に対する粒子線治療(固形がんに係わるものに限る)」2,883,000円としています。

この治療費用は、高額医療費の払い戻しの対象にはなりません、所得税の控除の対象になります。

料金は先進医療の種類や病院によって異なります。

また、先進医療以外の通常の医療と共通する部分(診療・投薬・注射・入院等)の費用は健康保険扱いとなります。

先進医療を選択したくとも、財務上の問題でその治療法を選択できないのは大変残念です。

そこで、高額な先進医療に対応するガン保険の最新トレンドは

1. 診断給付金が複数回支払われる
2. 高度先進医療特約が付いている
3. 通院治療も含めた治療費を補償する
(入院治療は無制限に治療費を払う)

がキーワードになります。

しかし、1つの保険では全て網羅することができませんので、複数社の商品を組み合わせることも考えられます。

がん治療においても入院日数が短縮化されていることと、通院のみでの治療も視野に入れなくてはなりません。

◇保険代理店の果たす役割

当社では皆様に数多くの生命保険・損害保険を提供させていただいております。

景気低迷により、他社または他扱者の生命

保険の見直しが多くなってきてます。

ご紹介や電話帳などを頼りに当社にお問い合わせを頂くケースが増えております。

保険に対する姿勢も真剣そのものです。

私たちが常に最新の情報や知識でもってご相談に応じさせていただいております。

当社では損害保険会社6社、生命保険会社9社と委託業務提携を行い、保険会社の販売代理という立場から、お客様が保険商品や保険会社を選ぶお手伝いをする「購買代理」という立場にて仕事をさせていただいております。

保険の契約はとかく長期に渡ることが多くなり、その途中での保全(住所異動、受取人の変更、保障内容の変更など)を行い、最終的には保険金の納入をするまで、保険代理店としての義務を全うしなければならないと思っています。

契約時に必要なコンサルティングや情報提供も大変重要となりますが、保険金の支払い時のコンサルティング、例えばリビングニーズ特約(余命6ヶ月と医師により診断されたときに保険金を請求できる権利が発生します)の請求時のコンサルティングもかなり重要となります。

入院・手術給付金の支払いや自動車保険の事故処理、また他の保険の請求漏れが無いかどうかの確認など、保険金の納品をしつかり行うことが私たちの使命と思っています。

◇ゴールデンウィーク休日案内

5月2日(土)～6日(水)の間
お休みとさせていただきます。

損害保険各社の事故発生連絡先

(すべて365日24時間対応しています)

あいおい損害保険	0120-024-024
三井住友海上火災	0120-258-365
日本興亜損害保険	0120-258-110
セコム損害保険	0120-210-545

◇マネー&保険セミナーのご案内

当社主催のセミナーを下記の通り開催しますので、ご希望の方は電話、Eメール またはファックスにてお申し込みください。

日時：平成21年5月30日(土)

14:00～16:00

場所：山形ビッグウィング402号室

会費：1,000円

※このRM&FPニュースレターの読者は「読んでもよ」の一言で無料となります。

発行者 有限会社 FPコンパス

武田幸夫 藤井義容 大木隼人 木村正照 阿部 信 工藤 進 大西忠兵衛
阿部 尊 高橋治子 佐藤豊彦 佐藤和一 浅見洋子 阿部浩和 深瀬幸子
多田恵子 土赤 妙 鈴木由美子

〒994-0063 山形県天童市東長岡2-1-34-103

TEL 023-658-3512 FAX 023-658-3513

-mail postmaster@fpcompass.co.jp